

ふれあい情報

2020年1月16日(木) 第309号

■発行 日本退職者連合
 ■発行人 野田那智子
 ■連絡先 〒101-0062
 東京都千代田区神田駿河台 3-2-11

<TEL> 03-5295-0507 <FAX> 03-5295-0541 <e-mail> ntr@sv.rengo-net.or.jp

連合2020賀詞交歓会 「連合結成30年節目の年」働く者の代表として 未来を変える～安心社会に向けて

連合は1月6日(月)午後4時から都内荒川区のホテルラングウッドにおいて新年賀詞交歓会を開催した。会場には関係者約1100名が駆けつけ新年を祝った。

新年交歓会ご挨拶

(神津連合会長)

2020年の新春を迎え、謹んで念頭のご挨拶を申し上げますとともに、日頃からの連合運動に対する皆様のご支援に心より御礼申し上げます。

連合は、結成30周年の節目を迎えました。多くの困難な課題が山積し、混迷する日本において、私たち連合は、働く者の代表としての役割と責任を自覚し、大会で確認したスローガン「私たちが未来を変える～安心社会に向けて～」に込めた決意も新たに、すべての働く者の代表として着実に前に進んでいく所存です。

本年も引き続き、連合運動にご注目いただき、より一層のご支援をお願い申し上げます。

神津連合会長は年頭にあたり、1989年の連合結成から30年を向かえ危機感を持ちながら、前向きに前進したいと決意を述べられました。

また春季生活闘争に触れ、この20年で日本人の賃金は10%ダウンし、欧州先進国が2倍になっていることから、世界の中でその存在がどんどんしぼんでおり、危機感を覚えると訴えられました。



続いて来賓を代表して、大橋日本経済団体連合会副会長(小松製作所代表取締役社長)からは、「私たち労使が働きがいを感じられる職場を整備することが大事、連合と経団連はトップレベルの懇談をはじめ、様々な機会を通じ永きにわたって相互理解を深めてきた。今後も新しい時代にふさわしい労使関係を築いていきたい」と挨拶されました。

つづいて、自民党・森労政局長、公明党・山口代表、立憲民主党・枝野代表、国民民主党・玉木代表、日本維新の会・片山共同代表、社民党・又市党首、連合、福祉団体代表により鏡開きが行なわれました。

第3回 幹事会**第201回通常国会への「春要求」議論**

(開会あいさつをする人見会長)

幹事会に先立ち、第2回の政策委員会が開催され、2020年の「春要求」の協議をおこない、引き続き開催される、「第3回幹事会」議案を審議しました。



(上：三役会議 左：政策委員会)

台風19号等災害「緊急カンパ」報告

幹事会では、昨年の台風19号災害「緊急カンパ」の取り組みで、連合は総額1億1089万7862円の集約があり、被害の大きかった宮城県、福島県、栃木県、長野県に拠出しました。そのうち退職者連合では561万2241円が集まりました。

核兵器廃絶1000万人署名の取り組み

3月を目途に進められている核兵器廃絶の署名活動は、各構成組織の取り組みで実施されていますが、退職者連合に報告のあったものは、54,392筆であり、終盤に向けての積極的な取り組みを要請しました。

幹事会では中間決算報告があり、7月～12月の予算執行率が45%と報告され了承されました。

協議事項として、「春要求」についての議論では、通常国会だけでなく、社会保障に関する継続的な取り組みの加筆と、これからの諸会議、集会対策が議論されました。

また、退職者連合が2021年結成30周年を迎え、その準備の為、石原喜久副会長を委員長とするプロジェクトチームの設置を確認しました。

幹事会終了後、警察庁から講師を招き、振込め被害防止の勉強会が行なわれました。対策として、かかってくる電話に対し、留守電で受ける、家族で合言葉を決める、録音するなどが有効であり、誰もが被害者になりうると指摘されました。



ホームページは退職者連合で検索を

退職者連合

検索

「カジノ解禁実施法」に関する意見交換会が開催された。

2018年7月に国会審議が不十分のまま、同法案は成立しました。現在は誘致を考える自治体ごとでの市民運動と連携をすることになります。